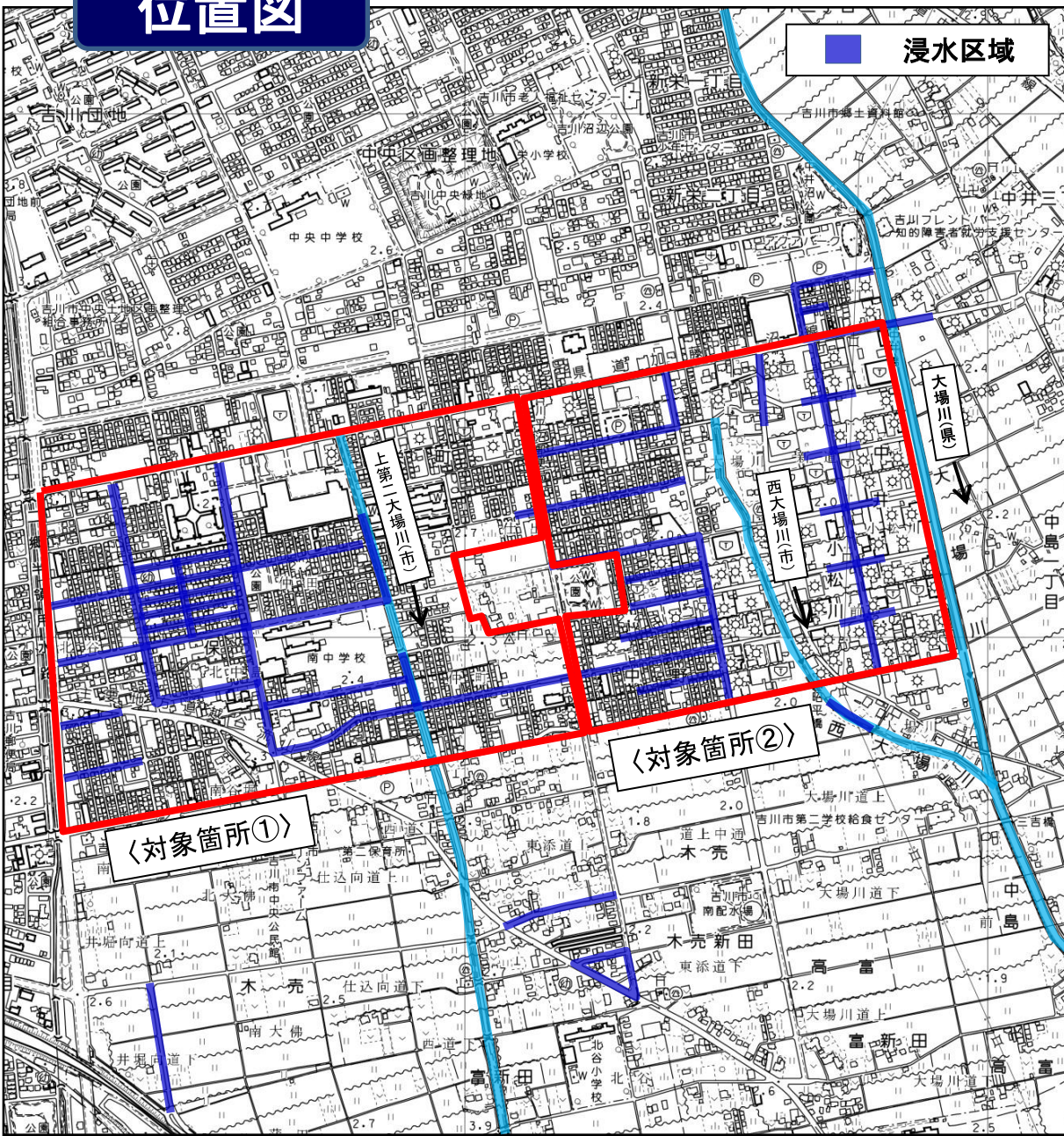


位置図



多発する浸水被害



大場川の状況



〔栄町、保、中野地区〕

連携施策

○現状・課題

- ・上第二大場川及び西大場川の排水区域である栄町、保、中野地区は、地盤高が河川計画高水位を下回る箇所があり、内水被害が発生しやすい。
- ・地区内の内水排除は、仮設ポンプ車による強制排水を行っているが、自然流下が主となるため、河川水位が低下するまで被害が解消されにくい。
- ・地区内の排水路は、一部素掘り水路などで流下阻害が懸念される路線も存在している。



●施策

- ・大場川及び第二大場川の河川改修の推進(県)
- ・仮設排水ポンプを購入し、全域を対象とした効果的な運用検討(市)[H28年度購入]
- ・大場川上流及び下流排水機場による効率的な内水排除の検討(県)
- ・第二大場川の河床掘削等の暫定対策(県)
- ・素掘り水路等の流下阻害箇所の解消(市)

(赤): 事業中、またはすぐに事業着手可能な施策
(緑): 検討のうえ事業化を目指す施策
(青): 事業が完了した施策